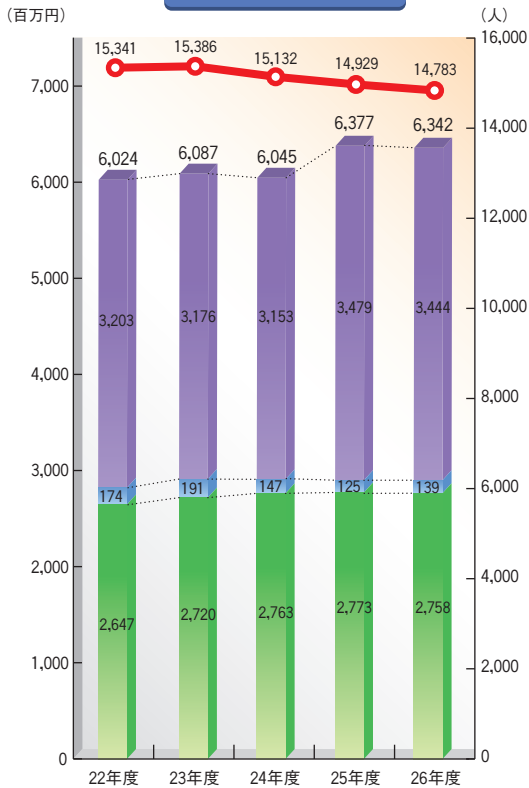


那 須 町

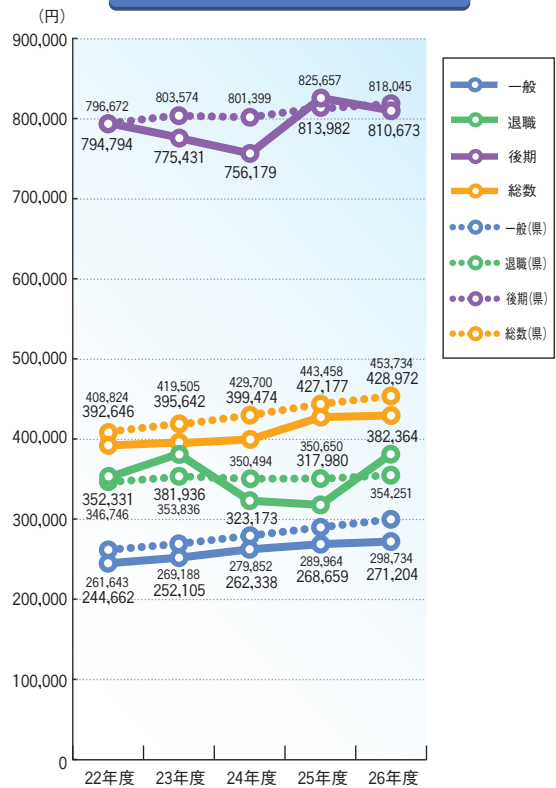
那須町



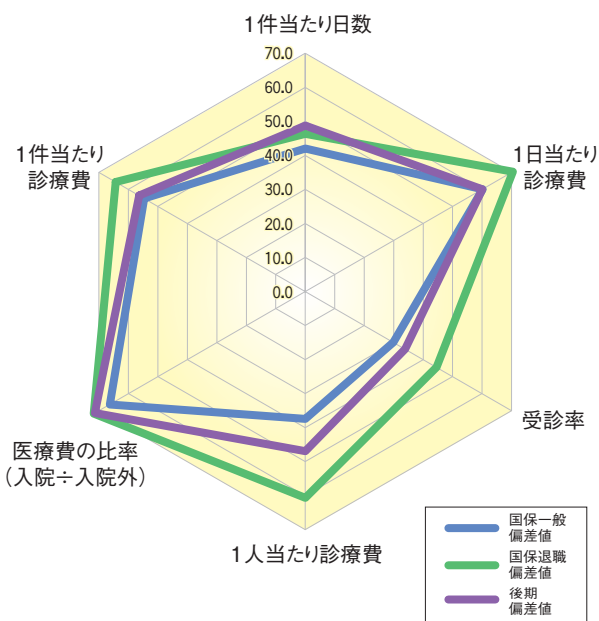
医療費の推移



1人当たり医療費の推移

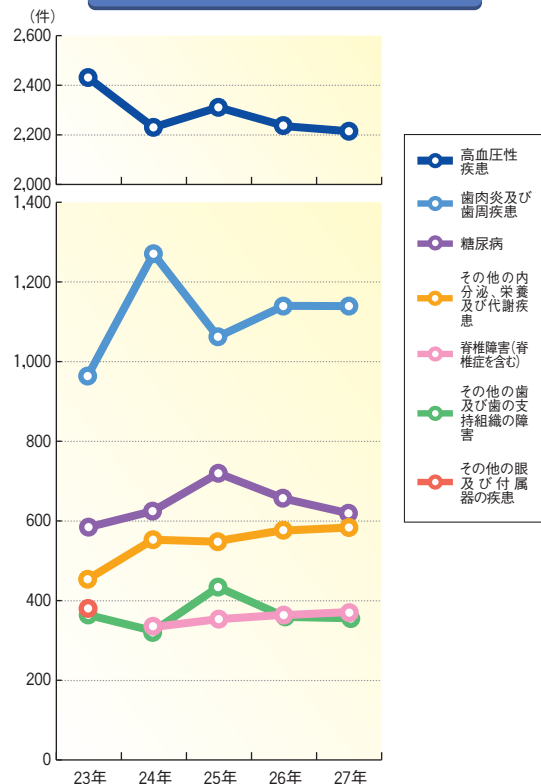


平成26年度 3要素と医療費諸費(県平均との比較)

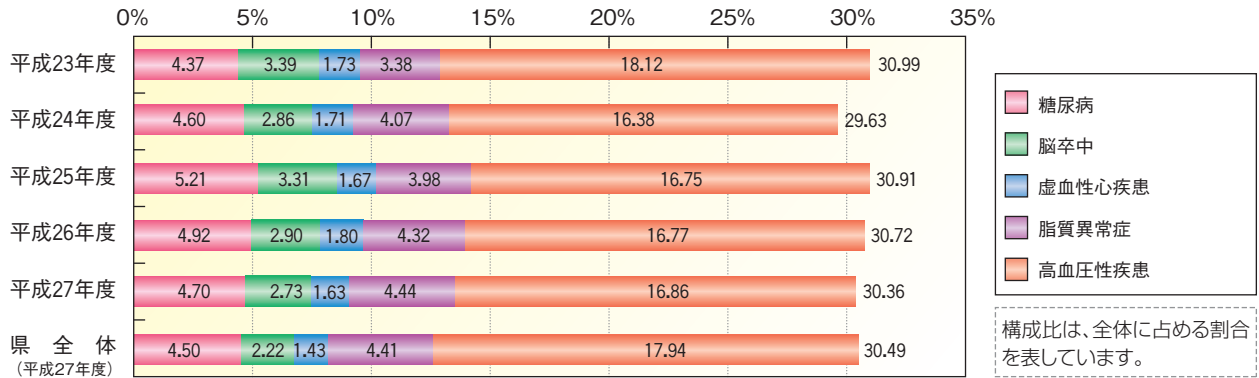


レーダーチャートでは、全ての軸のスケールは偏差値として統一されています。栃木県(平均)が50となるため、値が50の頂点を結ぶ正六角形が栃木県のレーダーチャートになり、当該地域の傾向が正六角形のずれ具合として把握できます。

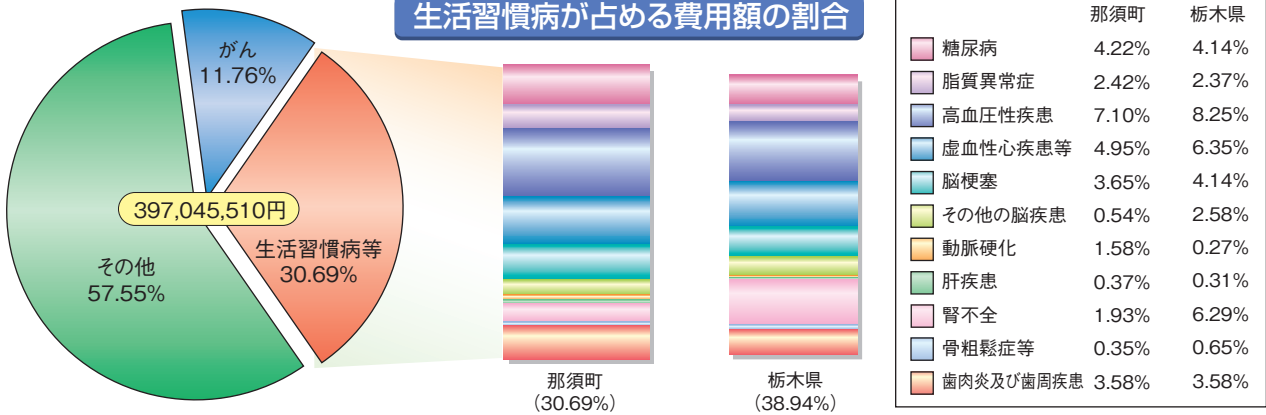
多受診疾病上位6位の推移



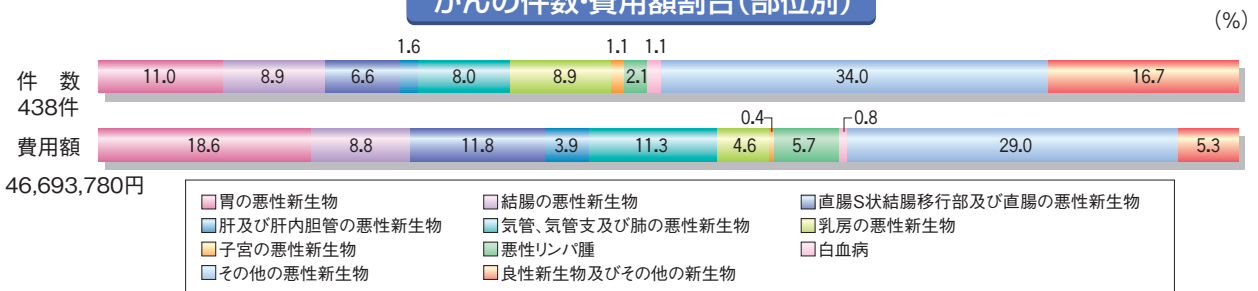
生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



生活習慣病が占める費用額の割合



がんの件数・費用額割合(部位別)



那須町の状況

★医療費の状況及び被保険者数

平成26年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般2,758,420千円(99.5%)、退職139,181千円(111.1%)、後期3,444,078千円(99.0%)で、全体では6,341,679千円(99.4%)と減少している。()は前年度との比較。

平成26年度平均被保険者数は14,783人で、内訳は一般10,171人、退職364人、後期4,248人である。前年度と比較すると全体で99.0%と減少している。

また、平成26年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は428,972円(1,795円増)、一般は271,204円(2,545円増)、退職は382,364円(64,384円増)、後期は810,673円(14,984円減)である。()は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療諸費の県平均との比較をみると、すべての法別において1日当たりの診療費、医療費の比率、1件当たりの診療費と退職の1人当たりの診療費において県平均を上回る高い偏差値となっている。

★疾病の状況

平成27年5月診療分の件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位糖尿病、4位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、5位脊椎障害(脊椎症を含む)、6位その他の歯及び歯の支持組織の障害で、1位の高血圧性疾患は件数、費用額共に減少傾向にあり、5位の脊椎障害(脊椎症を含む)は件数は微増したが、費用額は前年の約2分の1と激減した。

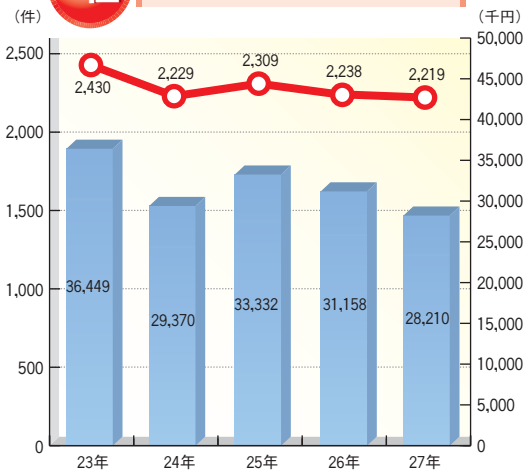
また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、脂質異常症が、年々増加傾向にある。

生活習慣病が占める費用額の割合では、平成27年5月診療分の総費用額が397,045,510円で、がんが11.76%、生活習慣病関連が30.69%を占めている(県全体 がん11.90%、生活習慣病関連38.94%)。生活習慣病関連で占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患7.10%、虚血性心疾患4.95%となっている。

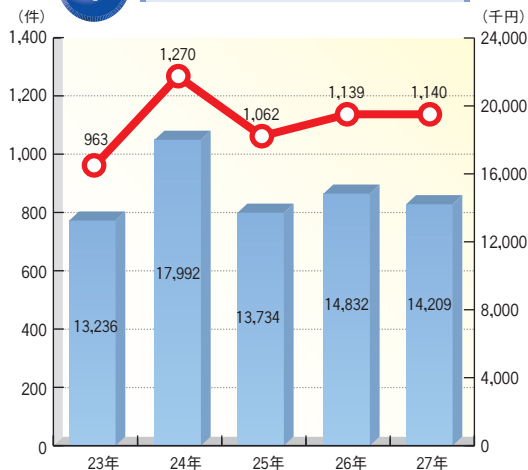
がんの部位別の件数及び費用額の割合は、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では胃の悪性新生物、費用額では胃の悪性新生物、直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物、気管・気管支及び肺の悪性新生物が高い割合を占めている。

多受診疾病 上位6の年次推移

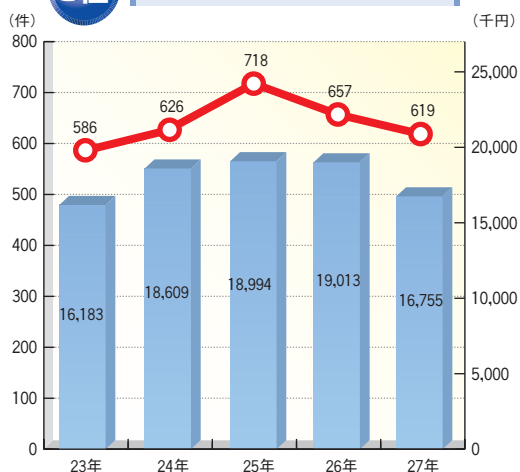
1位 高血圧性疾患



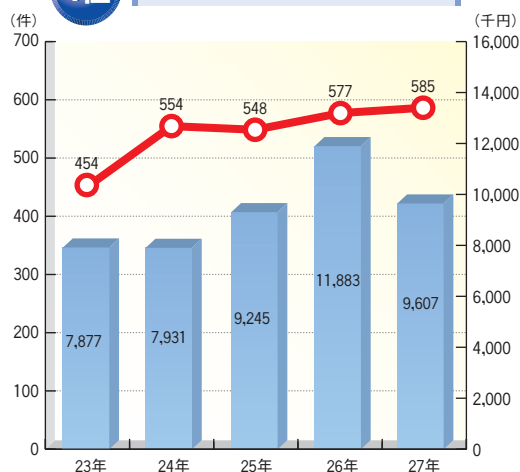
2位 歯肉炎及び歯周疾患



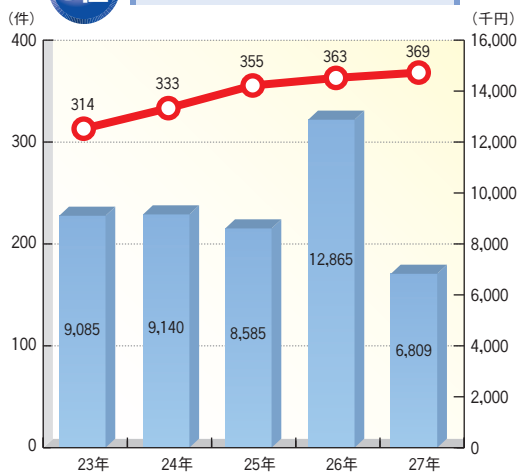
3位 糖尿病



4位 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



5位 脊椎障害(脊椎症を含む)



6位 その他の歯及び歯の支持組織の障害

